



# Serum Soluble (Pro)Renin Receptor Levels in Maintenance Hemodialysis patients

著者名	甘利 佳史
発行年	2019-01-18
URL	<a href="http://doi.org/10.20780/00032624">http://doi.org/10.20780/00032624</a>

## 主 論 文 の 要 旨

Serum Soluble (Pro)Renin Receptor Levels in Maintenance Hemodialysis patients. [透析患者における血清可溶性(プロ)レニン受容体濃度解析]

東京女子医科大学 内分泌内科学講座

指導：市原 淳弘 教授 ④  
甘利 佳史

PLoS One. 2016; 11(7): e0158068. に掲載

### 【要旨】

(プロ)レニン受容体[(P)RR]は組織レニン-アンジオテンシン(RA)系において重要な役割を担う。(P)RRは細胞外領域が可溶性(s)(P)RRとして細胞外に分泌されるため、血中s(P)RR値は組織RA系を反映する可能性が示唆されている。今回、透析(HD)患者における血清s(P)RR値の特性について検討した。結果、HD患者における血清s(P)RR値( $30.4 \pm 6.1$  ng/ml)は腎機能正常者に比し、有意に高値であった。透析でのクリアランスは $56.9 \pm 33.5$  ml/min、除去率は $10.1 \pm 22.6\%$ であり、排液中においてs(P)RRの存在が確認された。s(P)RR値はABI $<0.9$ の症例では $\geq 0.9$ の症例に比し有意に高値であった。以上の結果から、維持HD患者では血清s(P)RR値が高値であること、およびs(P)RRはHDによりある程度除去されることが確認された。また、血清s(P)RR値が高値であることは、末梢血管の高度動脈硬化と関連していたことから、血清s(P)RR値が動脈硬化の状態や心血管イベント発症の予見因子になる可能性があると考えられた。